

赤字: 今回見直し案

1 見直しの趣旨

水道事業を取り巻く環境の変化

- ・人口減少などによる水需要の減少
- ・水源水質の変化
- ・能登半島地震など自然災害の激甚化
- ・管路の老朽化に起因する事故の発生
- ・技術系職員の退職



安全な水の安定供給および
地域産業の健全な発展に貢献するため、
健全な経営を将来にわたり確保する

中長期的な視点に基づく経営の基本計画

計画期間: 10年間(令和3年度～令和12年度)
見直し期間: 5年間(令和8年度～令和12年度)

4 目標達成に向けた取組

横断的取組

1 リスクコミュニケーション

・水質検査、災害、事故などのリスクについて、受水市町、受水企業、県、国
および関係地域等との平時・有事における情報交換・共有等による連携強化

2 DX活用・推進

・業務効率化、迅速・正確な危機管理対応などを図るため、DXを計画的に推進



個別の取組

1 【安全】

水道水源への対応

- ・環境動向の把握と対応
- ・森林保全活動の実施

水質管理の強化

・水質検査結果の情報発信

・新たな水質基準項目への対応

・水道GLPを規範とした信頼性の確保
安全で安定した水の供給

・水安全計画による安全な水の供給
・受水市町担当者会議等における情報
提供・共有による施設・管路の適切な
維持管理

・異臭味発生時における情報発信、対応

2 【強靭】

施設の計画的な更新

・見直したアセットマネジメント計画の着
実な実施

水道施設の耐震化

・浄水場等の耐震化

施設の浸水対策

バックアップ対策の充実

・非常用発電能力の強化、燃料供給ネット
ワークの維持・強化

危機管理体制の強化

・危機管理マニュアルの充実
・事業統合計画(BCP)の充実

・原子力発電所事故への備え

・災害・事故時対応訓練の充実

・応急給水資機材、復旧資機材の確保

3 【持続】

健全経営の維持

- ・適正な料金設定
- ・拡充した優遇制度を活用した新規受水
企業の開拓

経営の効率化の推進

- ・施設規模の適正化
- ・維持管理コストの削減

経営基盤の強化

・上下水道事業の連携、地域化の推進、
民間活力の更なる導入など経営基盤強
化の方法について、国の動向、市町の
意見、他府県の事例を参考に幅広く検
討

地域経済の活性化への貢献

・県内事業者への受注機会拡大と県内生
産資材の利用促進

人材育成と技術継承

- ・技術の継承と人材確保
- ・効果的な人材育成

環境に配慮した取り組み

・脱炭素ロードマップに基づくエネルギー
消費量の削減

・浄水発生土等のリサイクルなどによる環
境負荷低減

地域・社会への貢献

- ・積極的な情報交換、情報提供
- ・県内大学や令和10年4月開校予定の滋
賀県立高等専門学校との連携

2 R3年度～R7年度における主な取組と課題

【安全】

取組: 水道GLPの更新、PFASに関する情報収集の実施
課題: 国、県、市町等と連携した水質状況の把握および情報提供・共有、か
び臭発生時におけるより効果的な情報提供方法の検討が必要

【強靭】

取組: アセットマネジメント計画の見直し、吉川3系浄水施設の新設
課題: 施設等の老朽化・耐震対策の計画的な推進が必要

【持続】

取組: 活性炭の共同購入等による広域化の推進
課題: 人口減少に伴う給水量の減少を見据えた施設規模の適正化や物
価高騰等に対する経営の効率化等が必要

3 基本理念・基本目標

基本理念 信頼の水で、地域の未来に貢献します
基本目標

【安全】
安全で良質な水を
安定して供給します

【強靭】
信頼を支える強靭な
ライフラインを構築します

【持続】
社会の変化に対応した
持続可能な経営を推進します

5 投資・財政計画

基本的な考え方

- ・自然災害や老朽化に対応するため、アセットマネジメント計画に基づく施設整備事業を着実に実施し、施設の強靭化を図ります。
- ・効率的な経営および適正な料金設定により財政基盤を強化し、経営を安定的に継続します。

収支見通し

(水道用水供給事業)

【収益的収支】

・純利益は減少するが、黒字を確保

【資本的収支】

・約401億円(R3～R12)の投資を予定

①主な投資計画

管路更新工事(R8～R12) 70億円

ろ過池・沈殿池更新工事(R8～R12) 21億円

集中監視制御設備更新工事(R10～R12) 20億円

(工業用水道事業)

○彦根

【収益的収支】

・令和9年度以降赤字になる見通し
(適正な料金設定を検討)

【資本的収支】

・約18億円(R3～R12)の投資を予定

②主な投資計画

管路更新工事(R8～R12) 6億円

集中監視制御設備更新工事(R10～R12) 1.4億円

○南部

【収益的収支】

・純利益は減少するが、黒字を確保

【資本的収支】

・約110億円(R3～R12)の投資を予定

③主な投資計画

管路更新工事(R8～R12) 41億円

集中監視制御設備更新工事(R10～R12) 4.6億円

健全経営の維持・向上に向けた取組

施設規模の適正化と長寿命化

・見直したアセットマネジメント計画に基づく施設・設備の整備

維持管理コストの削減と資金調達・運用の検討

・管路のダウンサイジング・ポンプ台数の見直しによる維持管理費の削減

エネルギー消費量の削減による経費の削減

・高効率設備を備える吉川3系浄水施設の有効活用による動力費削減

工業用水の需要拡大への取組

・拡充した優遇制度を活用した新規受水企業の開拓

6 計画の推進

毎年度、目標指標の達成度等について、PDCAサイクルに基づき評価を行い、必要に応じて見直しを行います。

